

RFX-300

DIGITAL REVERB & MULTI EFFECTS

オペレーションマニュアル

はじめに

このたびはZOOM RFX-300(以下“RFX-300”と呼びます)をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。RFX-300は、次のような特長を備えたマルチエフェクターです。

MTRとベストマッチのマルチエフェクター

サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数18ビットの高品位な22種類のエフェクトタイプをプリセット。ホール、ルーム、プレート、アンビエンスなどのリバーブ系エフェクト、ディレイ / モジュレーション系エフェクト、楽曲全体にかけて雰囲気を変えるミックスエフェクトを瞬時に呼び出し可能。特にMTR(マルチトラックレコーダー)を使った録音やミックスダウンに威力を発揮します。

イージーオペレーション

プリセットされたエフェクトは、パネル上のノブを使って主要なエフェクトパラメーター(効果の要素)を調節可能。いつでも直感的な音作りが行えます。

タップ機能を搭載

キーを叩く間隔に応じて、時間に関連するパラメーターを調節する“タップ機能”を搭載。ディレイタイムや変調の速度を曲のテンポに合わせて調節できます。

多彩な入出力に対応

入出力端子はフォーンとRCAピンの両方を用意。電子楽器、MTR、オーディオ機器など、接続先の機器を選びません。また、フォーン入力端子は、ゲインスイッチを切り替えることで、マイク入力にも対応。持ち運び可能なボーカル用エフェクターや録音用のマイクプリアンプとしても利用できます。

電池駆動も可能な2電源方式

ACアダプター以外に、単三乾電池×6本による駆動も可能な2電源方式。ライブ用のエフェクトとしても活用できます。

RFX-300の機能を十分にご理解いただき、未永くご愛用いただくためにも、ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。お願い申し上げます。

目次

安全上のご注意 / 使用上のご注意	2
各部の名称と機能	3
フロントパネル	3
リアパネル	3
接続しましょう	4
電池で駆動するとき	5
電源を入れる	5
音色を調節するには	6
バイパス機能を利用するには	6
エフェクトタイプとパラメーター	7
故障かな?と思う前に	
製品仕様	

安全上のご注意 / 使用上のご注意

安全上のご注意

この取り扱い説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。
マークの意味はつぎの通りです。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。

警告 電源について

本製品は、消費電流が大きいため、ACアダプターのご使用をお薦めしますが、電池でお使いになる場合は、アルカリ電池をご使用ください。

ACアダプターによる駆動

ACアダプターは、必ずDC9Vセンターマイナス300mA (ズームAD-0006)をご使用ください。指定外のACアダプターをお使いになりますと、故障や誤動作の原因となり危険です。

ACアダプターの定格入力AC電圧と接続するコンセントのAC電圧は必ず一致させてください。

ACアダプターをコンセントから抜く時は、必ずACアダプター本体を持って行ってください。

長時間ご使用とならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

乾電池による駆動

市販の1.5V単三乾電池×6本 アルカリをお使いください。RFX-300は充電機能を持っていません。

乾電池の注意表示をよくみてご使用ください。

長時間ご使用にならない場合は、乾電池をRFX-300から取り出してください。

万一、乾電池の液もれが発生した場合は、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ってください。

ご使用の際は、必ず電池ボタンを開けてください。

注意 使用環境について

RFX-300をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となります。必ずお避けください。

温度が極端に高くなる所や低くなる所

湿度が極端に高い所

砂やほこりの多い所

振動や衝撃の多い所

注意 取り扱いについて

RFX-300に異物(硬貨や針金など)または液体(水、ジュースやアルコールなど)を入れないように注意してください。ケーブルを接続する際は、各機器の電源を必ずオフしてから行ってください。

移動させる場合は一旦電源をオフしてから必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。

注意 改造について

ケースを開けたり改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。

改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねます。

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

RFX-300は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えています。

しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周辺に設置すると影響がでる場合があります。そのような場合は、RFX-300と影響する機器とを十分に距離をおいて設置してください。

デジタル制御の電子機器では、RFX-300も含めて、電波障害による誤動作やデータ破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

お手入れについて

RFX-300が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼってふいてください。

クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにPOWERスイッチを切り、他の接続されているケーブル類も外してください。

「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

保証書の手続きとサービスについて

保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。

ご購入された店舗で必ず保証書の手続きをしてください。

万一、保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。

ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

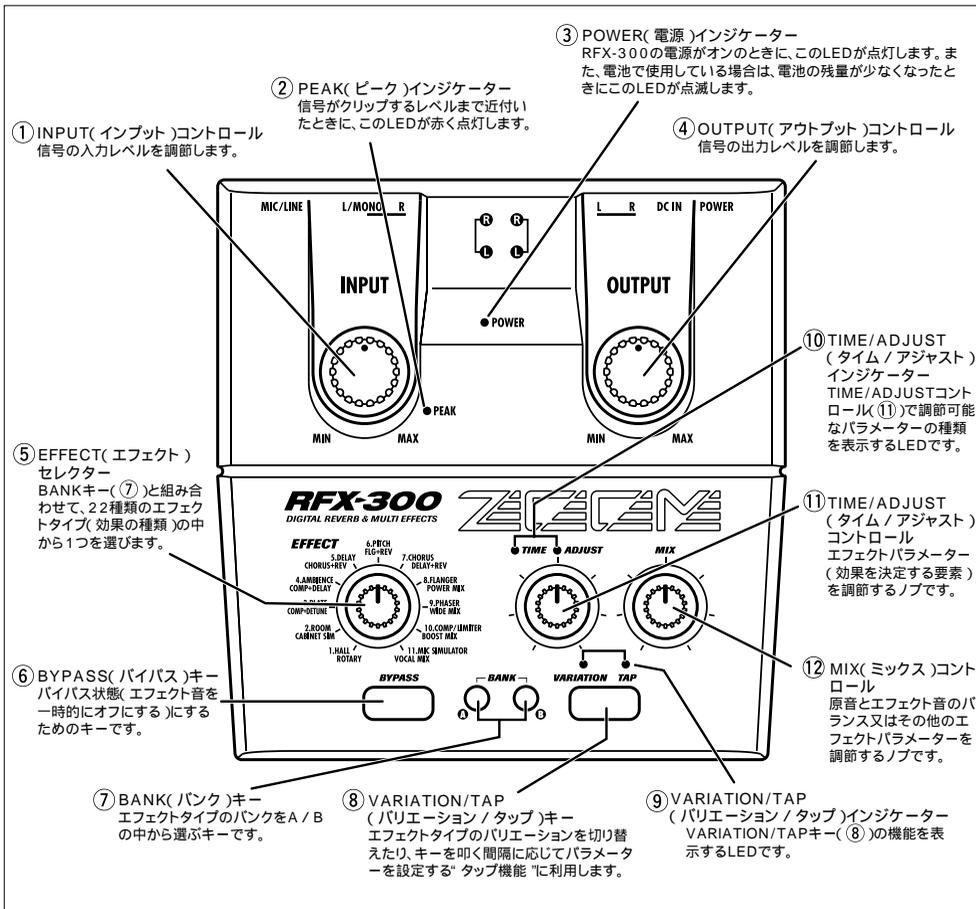
1. 保証書のご提示が無い場合
2. 保証書にご購入の年月日、販売店名の記述が無い場合
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合
4. 指定業者以外での修理、改造が不適当なため生じた故障の場合
5. 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合
6. ご購入後に製品が受けた過度の衝撃による故障の場合
7. 本製品に起因しない事故や人災および天災による故障の場合
8. 消耗品(電池など)を交換する場合
9. 日本国外でご使用になる場合

保証期間が切れますと修理は有償となりますが、引き続き責任を持って製品の修理を行いません。

このマニュアルは将来必要となることがありますので必ず参照しやすいところに保管してください。

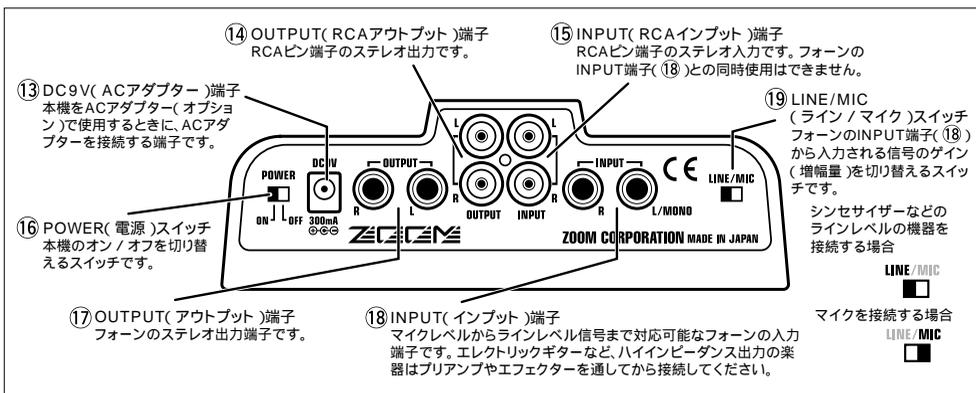
各部の名称と機能

フロントパネル



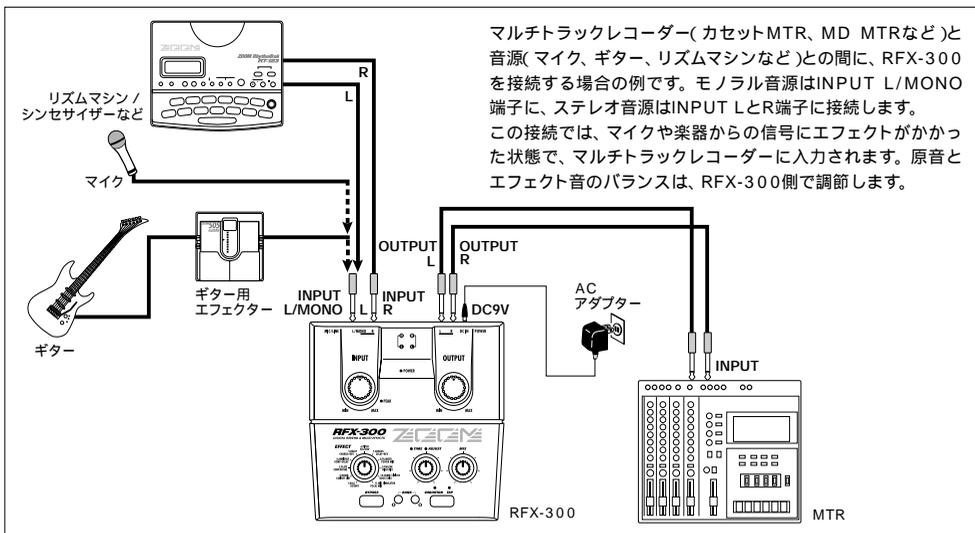
各部の名称と機能

リアパネル



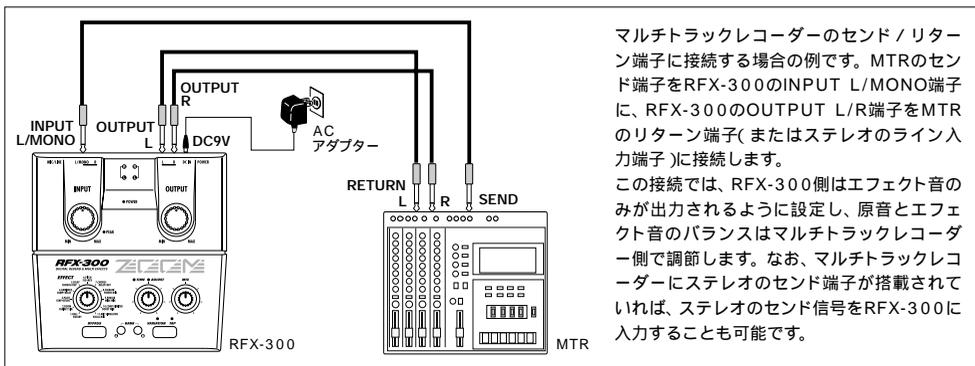
接続しましょう

レコーディング (インサート)



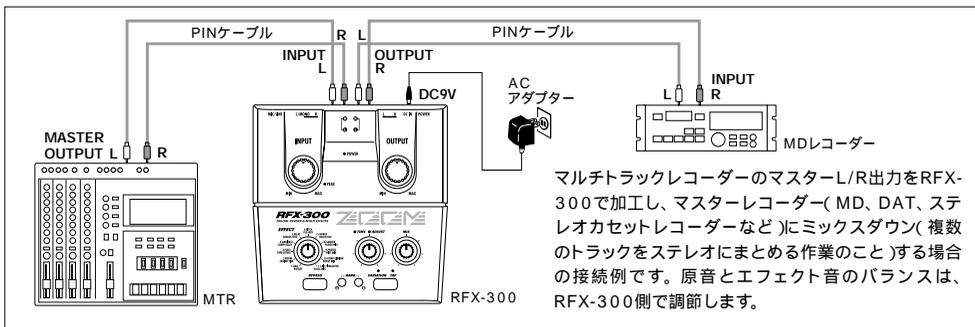
マルチトラックレコーダー(カセットMTR、MD MTRなど)と音源(マイク、ギター、リズムマシンなど)との間に、RFX-300を接続する場合の例です。モノラル音源はINPUT L/MONO端子に、ステレオ音源はINPUT LとR端子に接続します。この接続では、マイクや楽器からの信号にエフェクトがかかった状態で、マルチトラックレコーダーに入力されます。原音とエフェクト音のバランスは、RFX-300側で調節します。

レコーディング (センド/リターン)



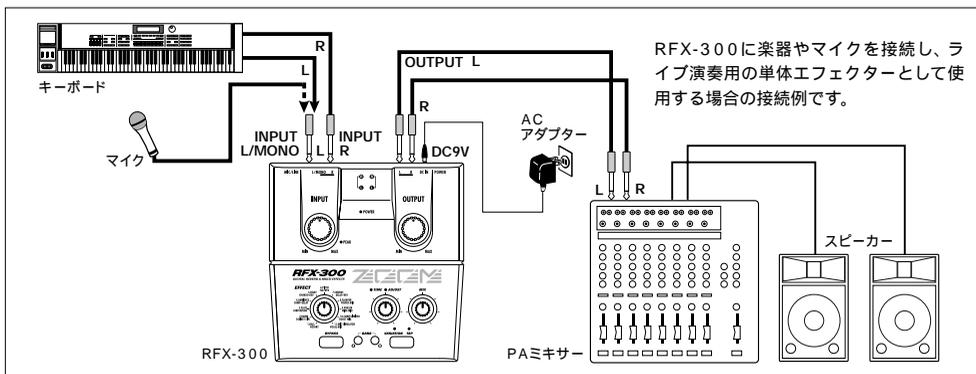
マルチトラックレコーダーのセンド/リターン端子に接続する場合の例です。MTRのセンド端子をRFX-300のINPUT L/MONO端子に、RFX-300のOUTPUT L/R端子をMTRのリターン端子(またはステレオのライン入力端子)に接続します。この接続では、RFX-300側はエフェクト音のみが出力されるように設定し、原音とエフェクト音のバランスはマルチトラックレコーダー側で調節します。なお、マルチトラックレコーダーにステレオのセンド端子が搭載されていれば、ステレオのセンド信号をRFX-300に入力することも可能です。

ミックスダウン



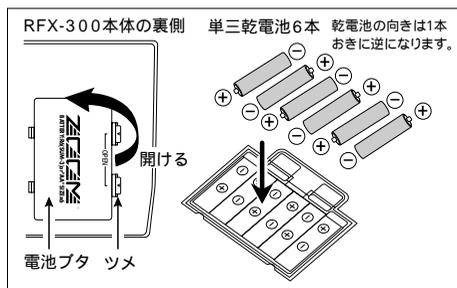
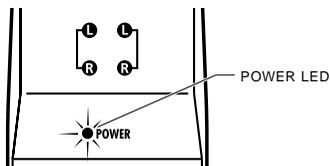
マルチトラックレコーダーのマスターL/R出力をRFX-300で加工し、マスターレコーダー(MD、DAT、ステレオカセットレコーダーなど)にミックスダウン(複数のトラックをステレオにまとめる作業のこと)する場合の接続例です。原音とエフェクト音のバランスは、RFX-300側で調節します。

ライブ演奏



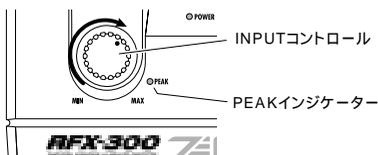
電池で駆動するとき

RFX-300はACアダプターで使用する以外に、単三乾電池(アルカリ)×6本で駆動することも可能です。電池で使用しているときは、電池の残量が少なくなるとフロントパネルのPOWER LEDが点滅を始めます。この場合は速やかに電池を交換してください。

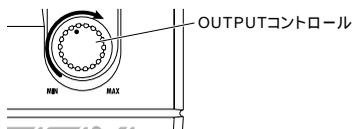


電源を入れる

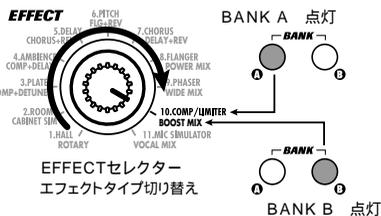
1. RFX-300にACアダプター、音源、再生装置が正しく接続されていることを確認してください。
2. 楽器その他の音源 RFX-300 再生装置の順に電源を入れてください。
このとき、RFX-300のINPUTコントロールとOUTPUTコントロール、および再生装置のボリュームは絞っておいてください。
3. INPUTコントロールを上げ、入力レベルを調節してください。
音源が最大音量のとき、PEAKインジケーターががすかに点灯するように設定するのがコツです。



4. OUTPUTコントロールや再生装置のボリュームを上げ、適切な音量が得られるように調節してください。



5. BANKキーとEFFECTセクターを使ってエフェクトタイプを切り替えてください。
AのBANKキーが点灯しているときは上の列に印刷されたエフェクトタイプ、Bが選ばれているときは下の列に印刷されたエフェクトタイプが選択できます。



音色を調節するには

音色を調節するには

RFX-300のエフェクトは、次のコントローラーを使って調節できます。

① TIME/ADJUSTコントロール

主要なエフェクトパラメーター(効果を決定する要素)を調節するノブです。このノブで調節可能なパラメーターの種類は、現在選ばれているエフェクトタイプによって異なります。

TIMEインジケータが点灯しているとき

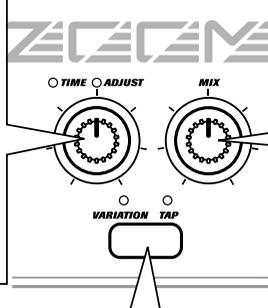
○ TIME ○ ADJUST
点灯

ディレイタイム、リバーブタイムなど、時間に関連するパラメーターを調節できます。

ADJUSTインジケータが点灯しているとき

○ TIME ○ ADJUST
点灯

その他のパラメーターを調節できます。



② MIXコントロール

原音とエフェクト音のバランス、エフェクト音のミックス量、その他のパラメーターを調節するノブです。このノブで調節可能なパラメーターの種類は、現在選ばれているエフェクトタイプによって異なります。

エフェクトタイプごとの調節可能なパラメーターについては、7ページをご参照ください。

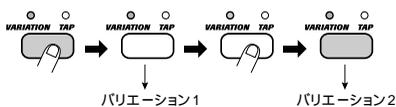
③ VARIATION/TAPキー

エフェクトのパリエーションを切り替えたり、キーを叩く間隔に合わせてパラメーターを設定する"タップ機能"に利用します。どちらの機能で利用できるかは、現在選ばれているエフェクトタイプによって異なります。

VARIATIONインジケータが点灯しているとき

○ VARIATION ○ TAP
点灯

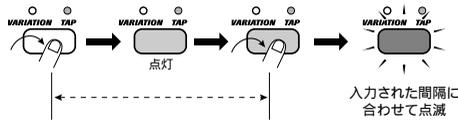
キーを押すたびに、エフェクトタイプのパリエーション1 (VARIATION/TAPキーが消灯)とパリエーション2 (VARIATION/TAPキーが点灯)が切り替わります。



TAPインジケータが点灯しているとき

○ 点灯
VARIATION TAP

このキーを叩いて、ディレイタイムやフランジャーの変調周期など、時間に関するパラメーターを簡単に入力できます(タップ機能)。



(1)最初にTAPキーを叩いてから...

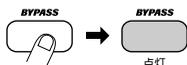
(2)2回目にTAPキーを叩くまでの時間を計測して、パラメーターの値を設定します。

なお、キーを叩く間隔が、該当するパラメーターのタップ入力範囲を越えた場合、そのパラメーターはタップ入力範囲の最大値に設定されます。

バイパス機能を利用するには

RFX-300のエフェクトは、バイパス(一時的にオフ)することができます。

1. RFX-300をバイパス状態にするには、BYPASSキーを押してください。

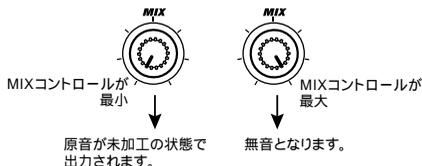


RFX-300がバイパス状態のときの動作には次の2種類があり、現在選ばれているエフェクトタイプに応じて異なります(エフェクトタイプごとにどちらの動作をするかは、7~11ページをご参照ください)。

WET MUTE(ウェットミュート)

エフェクト音のみが消音された状態で出力されます。4ページで紹介した「レコーディング(センド/リターン)」の接続例に対応するエフェクトタイプ(A1~A9)が、この動作になります。原音の音量レベルは、MIXコントロールの位置に応じて変化します。

バイパス状態のときに...



DRY THRU(ドライスルー)

原音が未加工の状態で出力されます。原音の音量レベルは、MIXコントロールの設定には影響を受けません。

2. RFX-300を通常の状態に戻すには、もう一度BYPASSキーを押してください。

エフェクトタイプとパラメーター

ここでは、すべてのエフェクトタイプと、調節可能なエフェクトパラメーターについて説明します。

エフェクトタイプ一覧表

次の表は、エフェクトタイプごとに、VARIATION/TAPキー、TIME/ADJUSTコントロール、MIXコントロールで調節可能なエフェクトパラメーターを表したものです。

	EFFECT	PARAMETER				BYPASS
		TAP	VARIATION	TIME/ADJUST	MIX	
A1	HALL		Warm / Clear	Reverb Time	Dry-Wet Balance	Wet Mute
A2	ROOM		Warm / Clear	Reverb Time	Dry-Wet Balance	Wet Mute
A3	PLATE		Warm / Clear	Reverb Time	Dry-Wet Balance	Wet Mute
A4	AMBIENCE		Warm / Clear	Reverb Time	Dry-Wet Balance	Wet Mute
A5	DELAY	Delay Time		Delay Time	Dry-Wet Balance	Wet Mute
A6	PITCH		Up / Down	Shift	Dry-Wet Balance	Wet Mute
A7	CHORUS		Warm / Clear	Depth & Rate	Dry-Wet Balance	Wet Mute
A8	FLANGER	Rate		Rate	Dry-Wet Balance	Wet Mute
A9	PHASER	Rate		Rate	Dry-Wet Balance	Wet Mute
A10	COMP/LIMITER		Compressor / Limiter	Release	Threshold	Dry Thru
A11	MIC SIMULATOR		Vocal / Instrument	Threshold	Enhance	Dry Thru
B1	ROTARY	Rate		Rate	Intensity	Dry Thru
B2	CABINET SIM		Combo / Stack	Presence	Depth	Dry Thru
B3	COMP+DETUNE		Compressor / Limiter	Comp Threshold	Detune Mix	Dry Thru
B4	COMP+DELAY	Delay Time		Delay Time	Comp Threshold	Dry Thru
B5	CHORUS+REV		Warm / Clear	Chorus Mix	Reverb Mix	Dry Thru
B6	FLG+REV	Flanger Rate		Flanger Rate	Reverb Mix	Dry Thru
B7	DELAY+REV	Delay Time		Delay Time	Reverb Mix	Dry Thru
B8	POWER MIX		Short Reverb / Long Reverb	Intensity	Reverb Mix	Dry Thru
B9	WIDE MIX		Short Reverb / Long Reverb	Intensity	Reverb Mix	Dry Thru
B10	BOOST MIX		Short Reverb / Long Reverb	Intensity	Reverb Mix	Dry Thru
B11	VOCAL MIX		Short Reverb / Long Reverb	Intensity	Reverb Mix	Dry Thru

エフェクトタイプの詳細

リバーブ

高品位なステレオリバーブのエフェクトタイプです。効果のバリエーションとして、ボーカルや楽器全般に適したベーシックな音色(Warm)と、ドラム/パーカッションに適したクリアな音色(Clear)の2種類が選べます。4ページの接続例「レコーディング (センド/リターン)」で使用するのに最適です。

エフェクトタイプ	解説
A1 HALL (ホール)	コンサートホールの広大な空間をシミュレートしたエフェクトです。
A2 ROOM (ルーム)	ライブハウス程度の大きさを持つ部屋の残響をシミュレートしたエフェクトです。
A3 PLATE (プレート)	いわゆる「プレートリバーブ」(空中にぶら下げた大型の鉄板にピックアップを付けた装置)の残響をシミュレートしたエフェクトです。特にClearのバリエーションは、パーカッションに最適です。
A4 AMBIENCE (アンビエンス)	音源に自然なアンビエンス(空気感)を加えて、雰囲気を変えずに聴きやすくするエフェクトです。

A1 A4 共通	VARIATION/TAP	TIME/ADJUST	MIX	BYPASS
	VARIATION (Warm / Clear)	Reverb Time	Dry-Wet Balance	Wet Mute
	リバーブのバリエーション(Warm / Clear)を切り替えます。	残響時間を調節します。	原音とエフェクト音のバランスを調節します。	バイパス状態のときに、エフェクト音のみを消音します。
【セッティング例】 HALL 男声 / 女声のどちらのボーカルにも使える、自然なホールリバーブ。				
	この例のMIXパラメーターはセンド/リターン接続用の設定です。			
【セッティング例】 PLATE パーカッションに最適! ブライتنا残響が得られるセッティング。				
			この例のMIXパラメーターはセンド/リターン接続用の設定です。	

シングルエフェクト

ディレイ系エフェクト、モジュレーション系エフェクト、ダイナミクス系エフェクトなどの単体エフェクトです。「レコーディング (インサート)」の接続例(4ページ)でトラック録音に使用するのに最適です。また、A5～A9は「レコーディング (センド/リターン)」の接続例にも対応します。

	エフェクトタイプ	解説			
A5	DELAY (ディレイ)	最大ディレイタイム700msのステレオディレイです。ディレイタイムを曲のテンポに合わせたいときは、TAPキーを使って簡単にタップ入力できます。			
	VARIATION/TAP TAP (Delay Time)	TIME/ADJUST Delay Time	MIX Dry-Wet Balance	BYPASS Wet Mute	
	ディレイタイムをタップ入力するときに使用します。	ディレイタイムをつまみで調節するときに使用します。	原音とエフェクト音のバランスを調節します。	バイパス状態のときに、エフェクト音のみを消音します。	
A6	PITCH (ピッチ)	デチューン(わずかにピッチをずらしたエフェクト音を原音に加える効果)から±1オクターブまでのピッチシフト音まで、多彩な効果が得られるピッチエフェクトです。			
	VARIATION/TAP VARIATION (Up / Down)	TIME/ADJUST Shift	MIX Dry-Wet Balance	BYPASS Wet Mute	
	ピッチエフェクトのバリエーション(上方向へのピッチ変化、または下方向へのピッチ変化)を切り替えます。	ピッチのシフト量(デチューン3段階±1.2半音)を調節します。	原音とエフェクト音のバランスを調節します。	バイパス状態のときに、エフェクト音のみを消音します。	
A7	CHORUS (コーラス)	ピッチを周期的に上下させたエフェクト音を原音に加え、広がり感を生み出すステレオコーラスです。ソフトな音色(Warm)とクリアな音色(Clear)の2種類のバリエーションが選べます。			
	VARIATION/TAP VARIATION (Warm / Clear)	TIME/ADJUST Depth & Rate	MIX Dry-Wet Balance	BYPASS Wet Mute	
	コーラスのバリエーション(Warm / Clear)を切り替えます。	ゆらぎの深さと速さを同時に調節します。	原音とエフェクト音のバランスを調節します。	バイパス状態のときに、エフェクト音のみを消音します。	
A8	FLANGER (フランジャー)	ごくわずかに遅らせたエフェクト音を原音に加え、さらに遅延時間を周期的に変化させてうねりを生み出すエフェクトです。原理はコーラスとよく似ていますが、エフェクト音を入力にフィードバックさせることで、音色に強力なクセが付く点が、フランジャーならではの特徴です。			
	VARIATION/TAP TAP (Rate)	TIME/ADJUST Rate	MIX Dry-Wet Balance	BYPASS Wet Mute	
	うねりの周期をタップ入力するときに使用します。	うねりの周期をつまみで調節するときに使用します。	原音とエフェクト音のバランスを調節します。	バイパス状態のときに、エフェクト音のみを消音します。	
	【セッティング例】	歪み系のエフェクトと併用することで、ジェットサウンドを作り出すセッティング。			
A9	PHASER (フェイザー)	位相をずらしたエフェクト音を原音に加え、さらにエフェクト音の位相を周期的に変化させることで、シュワシュワした変調感を生み出すエフェクトです。エレクトリックギターやエレクトリックピアノのコード演奏に最適です。			
	VARIATION/TAP TAP (Rate)	TIME/ADJUST Rate	MIX Dry-Wet Balance	BYPASS Wet Mute	
	うねりの周期をタップ入力するときに使用します。	うねりの周期をつまみで調節するときに使用します。	原音とエフェクト音のバランスを調節します。	バイパス状態のときに、エフェクト音のみを消音します。	
	【セッティング例】	エレクトリックギターやエレクトリックピアノのコードパッキング向けのセッティング。			

エフェクトタイプとパラメーター

A10	COMP/LIMITER (コンプレッサー/リミッター)	信号のレベルを揃えるダイナミクス系エフェクトです。効果のバリエーションとして、一定レベル(スレッシュホールドレベル)よりも低い信号を持ち上げ、高い信号を抑える“コンプレッサー”と、高い信号のみを抑える“リミッター”という2種類が選べます。		
	VARIATION/TAP VARIATION (Compressor/Limiter)	TIME/ADJUST Release	MIX Threshold	BYPASS Dry Thru
	効果のバリエーション(CompressorまたはLimiter)を切り替えるのに使用します。	入力信号のレベルがスレッシュホールド以下になってから圧縮を終了するまでの長さを、単体の楽器音には短め、複数の楽器音には長めの設定が適しています。	コンプレッサー/リミッター効果が上がり始めるスレッシュホールドレベルを調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。
	【セッティング例】 アタック感を強調したコンプレッサー。	TIME ADJUST 	MIX 	【セッティング例】 急激なレベル変化によるクリップを防ぐリミッター。
	VARIATION TAP 	TIME ADJUST 	MIX 	VARIATION TAP

マイクシミュレーター

ダイナミックマイクを使ってボーカルやアコースティック楽器を録音するときに、高価なコンデンサーマイクを使ったような特性が得られるエフェクトです。また、マイク録音に欠かせないリミッターやエンハンサーなどの効果も備えています。「レコーディング (インサート)」の接続例(4ページ)でトラック録音に使用するのに最適です。

A11	エフェクトタイプ	解説		
	MIC SIMULATOR (マイクシミュレーター)	ポピュラーなダイナミックマイクを使って、コンデンサーマイクのような特性が得られるエフェクトです。効果のバリエーションとして、ふくよかな中音域と自然に伸びた高音域が特長の“ボーカル”、コンデンサーマイクならではの繊細な音が録音できる“インストゥルメント”が選択できます。		
	VARIATION/TAP VARIATION (Vocal/Instrument)	TIME/ADJUST Threshold	MIX Enhance	BYPASS Dry Thru
	効果のバリエーション(VocalまたはInstrument)を切り替えるのに使用します。	リミッター効果の感度を調節します。	高音域を強調するエンハンサーのかけ具合を調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。
	【セッティング例】 ロックボーカルに張りりと深みを与えるセッティング。	TIME ADJUST 	MIX 	【セッティング例】 アコースティックギターを自然な音色で録音するためのセッティング。
	VARIATION TAP 	TIME ADJUST 	MIX 	VARIATION TAP

ギター & オルガン

オルガンに欠かせないロータリーエフェクトや、アンプの箱鳴りをシミュレートするキャビネットシミュレーターなど、エレクトリックギターやオルガンに特化したエフェクトです。

B1	エフェクトタイプ	解説		
	ROTARY (ロータリー)	スピーカーを機械的に回転させるロータリースピーカーの効果をシミュレートするエフェクトです。回転速度をタップ入力できます。		
	VARIATION/TAP TAP (Rate)	TIME/ADJUST Rate	MIX Intensity	BYPASS Dry Thru
	回転速度をタップ入力するときに使用します。	回転速度をつまみで調節するときに使用します。	効果の深さを調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。
B2	CABINET SIM (キャビネットシミュレーター)	歪み系エフェクターやマルチエフェクターで加工したエレクトリックギターの音色に箱鳴り成分を加えて、リアルなアンプサウンドを再現するエフェクトです。効果のバリエーションとしてコンボ(コンボアンプの箱鳴り)またはスタック(スタックアンプの箱鳴り)が選べます。		
	VARIATION/TAP VARIATION (Combo/Stack)	TIME/ADJUST Presence	MIX Depth	BYPASS Dry Thru
	効果のバリエーション(ComboまたはStack)を切り替えます。	超高音域の音量を調節します。	箱鳴りの効果の深さを調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。
	【セッティング例】 歪み系エフェクトと併用することで、スタックアンプの箱鳴りを再現するセッティング。	TIME ADJUST 	MIX 	
	VARIATION TAP 	TIME ADJUST 	MIX 	VARIATION TAP

エフェクトタイプとパラメーター

マルチエフェクト

1つのエフェクトタイプで複数の効果が得られるマルチエフェクトです。RFX-300を録音時のインサージョンエフェクト、もしくはライブ演奏時の単体エフェクトとして使用するとき最適です。

	エフェクトタイプ	解説			
B3	COMP+DETUNE (コンプレッサー+デチューン)	音の粒立ちを揃えるコンプレッサー効果と、ピッチをわずかにずらしたエフェクト音を原音に加えるデチューン効果を組み合わせたマルチエフェクトです。			
	VARIATION/TAP VARIATION (Compressor/Limiter)	TIME/ADJUST Comp Threshold	MIX Detune Mix	BYPASS Dry Thru	
	コンプレッサーのバリエーション(コンプレッサーまたはリミッター)を切り替えます。	コンプレッサー / リミッター効果ががかり始めるスレッシュホルドレベルを調節します。	原音とエフェクト音(デチューン)のMix量を調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。	
	【セッティング例】	ポップスでよく使われるボーカルの「ダブルトラックング」効果。			
B4	COMP+DELAY (コンプレッサー+ディレイ)	コンプレッサー効果にディレイを効果を組み合わせたマルチエフェクトです。エコーを加えたボーカルの録音に最適です。			
	VARIATION/TAP TAP (Delay Time)	TIME/ADJUST Delay Time	MIX Comp Threshold	BYPASS Dry Thru	
	ディレイタイムをタップ入力するときに使用します。	ディレイタイムをツマミで調節するときに使用します。	コンプレッサー / リミッター効果ががかり始めるスレッシュホルドレベルを調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。	
B5	CHORUS+REV (コーラス+リバーブ)	コーラス効果とリバーブ効果を組み合わせたマルチエフェクトです。アコースティックギターやエレクトリックピアノのコードバックング演奏に最適です。			
	VARIATION/TAP VARIATION (Warm/Clear)	TIME/ADJUST Chorus Mix	MIX Reverb Mix	BYPASS Dry Thru	
	効果のバリエーション(暖かみのある音色、またはクリアな音色)を切り替えます。	コーラス音のミックス量を調節します。	リバーブ音のミックス量を調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。	
B6	FLG+REV (フランジャー+リバーブ)	うねりの強いフランジャー効果にリバーブ効果を組み合わせたマルチエフェクトです。エレクトリックギターのリードサウンド、アルペジオ、さらにサウンドエフェクトにも試してみてください。			
	VARIATION/TAP TAP (Flanger Rate)	TIME/ADJUST Flanger Rate	MIX Reverb Mix	BYPASS Dry Thru	
	フランジャーの変調速度(うねりの速さ)をタップ入力するときに使用します。	フランジャーの変調速度(うねりの速さ)をツマミで調節するときに使用します。	リバーブ音のミックス量を調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。	
	【セッティング例】	フワフワと空中を漂うような浮遊感を演出するセッティング。アルペジオ演奏に最適。			
B7	DELAY+REV (ディレイ+リバーブ)	ボーカル用エフェクトとして定番の組み合わせです。リードギターやエレクトリックピアノのソロにも使ってみましょう。			
	VARIATION/TAP TAP (Delay Time)	TIME/ADJUST Delay Time	MIX Reverb Mix	BYPASS Dry Thru	
	ディレイタイムをタップ入力するときに使用します。	ディレイタイムをツマミで調節するときに使用します。	リバーブ音のミックス量を調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。	

ミックスダウンエフェクト

ミックスダウン(MTRの複数トラックをステレオにまとめる作業)やマスタリング(完成した2トラックミックスの音質やレベルを補正する作業)を効率よく行うためのエフェクトです。4ページの接続例「ミックスダウン」で使用するのに最適です。

	エフェクトタイプ	解説		
B8	POWER MIX (パワーミックス)	サウンドに太い低音部とパワー感を加えるエフェクトで、ロック系の楽曲に最適です。リバーブ効果のバリエーションとして、残響時間の短い「ショートリバーブ」と、残響時間がやや長めの「ロングリバーブ」が選べます。		
	VARIATION/TAP VARIATION (Short Reverb/Long Reverb)	TIME/ADJUST Intensity	MIX Reverb Mix	BYPASS Dry Thru
	リバーブのバリエーション(ショートリバーブ/ロングリバーブ)を切り替えます。	低音の強調具合を調節します。	リバーブ音のミックス量を調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。
	【セッティング例】	ドライヴ感を強調した、ヘビィなロックサウンド。		
B9	WIDE MIX (ワイドミックス)	左右の広がりが感を強調するミックスダウンエフェクトです。特にインストゥルメント中心の楽曲を仕上げるときに最適です。		
	VARIATION/TAP VARIATION (Short Reverb/Long Reverb)	TIME/ADJUST Intensity	MIX Reverb Mix	BYPASS Dry Thru
	リバーブのバリエーション(ショートリバーブ/ロングリバーブ)を切り替えます。	左右の広がりが具合を調節します。	リバーブ音のミックス量を調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。
	【セッティング例】	リバーブ成分を加えてアンビエントを重視したセッティング例。		
B10	BOOST MIX (ブーストミックス)	タイトなローエンドと歯切れのいいハイエンドを加える、ロック/ポップス系の楽曲に最適なミックスダウンエフェクトです。カセットMTRに録音する際に失われがちな低音域や高音域の補正にも利用できます。		
	VARIATION/TAP VARIATION (Short Reverb/Long Reverb)	TIME/ADJUST Intensity	MIX Reverb Mix	BYPASS Dry Thru
	リバーブのバリエーション(ショートリバーブ/ロングリバーブ)を切り替えます。	低音域/高音域の音量を調節します。	リバーブ音のミックス量を調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。
	【セッティング例】	ライブ録音風サウンドに仕上げるセッティング		
B11	VOCAL MIX (ボーカルミックス)	中音域を強調し、プレート系リバーブを加えることで、ボーカルの艶や暖かみを再現するミックスダウンエフェクト。バラードなどボーカルがメインの楽曲に最適です。		
	VARIATION/TAP VARIATION (Short Reverb/Long Reverb)	TIME/ADJUST Intensity	MIX Reverb Mix	BYPASS Dry Thru
	リバーブのバリエーション(ショートリバーブ/ロングリバーブ)を切り替えます。	ボーカルの明瞭度や艶を強調する帯域の音量を調節します	リバーブ音のミックス量を調節します。	バイパス状態のときに、原音のみが未加工の状態で出力されます。
	【セッティング例】	ボーカルを美しく響かせるリバーブを加えたバラード用セッティング。		

エフェクトタイプとパラメーター

故障かな？と思う前に

症状	確認	対策
音がでない、非常に小さい	・適切なACアダプターが接続されて、電源スイッチがオンになっていますか？	⇒ 「電源を入れる」のページに従って、電源をオンしてください。
	・INPUT端子と音源、OUTPUT端子と再生装置が正しく接続されていますか？	⇒ 「接続しましょう」のページに従って、接続してください。
	・ご使用のシールドケーブルは正常ですか？	⇒ シールドケーブルを交換してみてください。
	・アンプの電源は入っていますか？ また、音源やアンプのボリュームは適切ですか？	⇒ アンプの電源を入れ、適切な音量になるようにボリュームを調節してください。
	・INPUTコントロール、OUTPUTコントロールが下がっていませんか？	⇒ 適切な音量になるようにINPUTコントロール、OUTPUTコントロールを調節してください。
	・電池が消耗していませんか？	⇒ 電池を交換してください。
	・バイパス状態のときにMIXコントロールが最大になっていませんか？	⇒ MIXコントロールを調節してください。
入力した音が割れる / 歪む	・入力信号のレベルが高すぎませんか？	⇒ 音源のボリュームとINPUTコントロールを適切なレベルに調節してください。
	・フォーンとRCAピンの両方のINPUT端子に信号を入力していませんか？	⇒ フォーンとRCAピンの両方のINPUT端子を同時に使用することはできません。どちらか一方のみに音源を接続してください。
	・LINE/MICスイッチがMICになっていませんか？	⇒ LINE/MICスイッチをLINEに切り替えてください。
エフェクトが効かない	・本機がバイパス状態になっていませんか？	⇒ バイパス状態を解除してください。
	・MIXコントロールをダイレクト音の側に回しきっていませんか？	⇒ MIXコントロールでダイレクト音とエフェクト音のバランスを調節してください。

製品仕様

エフェクトプログラム	11エフェクト×2Banks	アウトプット	
サンプリング周波数	44.1kHz	L, R	標準モノラルフォーンジャック
A/D変換	18ビット 64倍オーバーサンプリング	L, R	RCAピンジャック
D/A変換	18ビット 8倍オーバーサンプリング	出力負荷インピーダンス	100オーム以上
DSP	ZOOMオリジナル ZFx - 2	最大出力	+6dBm
インプット		電源	付属ACアダプター
L/MONO, R	標準モノラルフォーンジャック×2		DC9Vセンターマイナス(AD-0006)
入力インピーダンス	22Kオーム	外形寸法	電池 単三乾電池×6本
基準入力レベル	-10dBm(ライン)	重量	連続使用 約10時間(アルカリ電池使用時)
	-56dBm(マイク)		168mm(W)×170mm(D)×59mm(H)
L, R	RCAピンジャック		550g
入力インピーダンス	22Kオーム	0dBm = 0.775Vrms	
基準入力レベル	-10dBm	製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。	

ZOOM®

CATCH US IF YOU CAN

株式会社ズーム

〒183-0022 東京都府中市宮西町2-10-2ノアビル1階 TEL: 042-369-7111 FAX: 042-369-7115

Printed in Japan RFX-300-5010

